

会 議 記 録

高松市附属機関等の会議の公開及び委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	令和元年度 第1回中小企業振興審議会
開催日時	令和元年8月8日(木)10時～11時30分
開催場所	四番丁スクエア 1階会議室
議 題	(1) 平成30年度アンケート結果に関する対応状況及び令和元年度アンケート(案)について (2) 令和元年度における主な支援施策について (3) その他(新たな中小企業等表彰制度(ビジネスアワード)について)
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	
出席委員	松岡委員、山下委員、米田委員、一小路委員、竹内委員、西尾委員、平田委員、増田委員、宮武委員、西岡委員、吉馴委員(出席委員11人/欠席委員3人)
傍聴者	1人(定員5人)
担当課及び連絡先	産業振興課 産業支援・労政係 839-2411

審議経過及び審議結果

～事務局より

議題（１）平成３０年度アンケート結果に関する対応状況及び令和元年度アンケート（案）について配布資料を基に説明～

- ② 平成３０年度アンケート結果に関する対応状況
- ③ 事業継続力強化支援計画の概要
- ④ 企業事業継続及び外国人雇用に関するアンケート（案）
- ⑤ アンケート実施要領（案）

（委員）

従業員２０人以下の小規模事業者を主体に調査するという事なので、BCP（事業継続計画）に関する説明を行った方がよい。

外国人雇用に関するアンケートでは、外国人を雇用しない企業の掘り下げを行ってほしい。

（事務局）

まずはBCPの存在を周知すること、そこに重点を置いて小規模事業者がBCPを考えるきっかけ作りにもなるアンケートを実施したい。

外国人雇用に関するアンケートでは、外国人を雇用するうえでの問題点（外国人を雇用しない理由）についての設問も設けたい。

（委員）

策定したBCPが機能するための支援（成功事例の紹介等）も今後必要だと思う。

（委員）

個々の企業のBCPも重要だが、地域全体の災害対応（整合性）が大切である。

（事務局）

BCPの策定については成功事例を作っていくためにも進めていきたい。また、企業が被災した時の情報収集体制等についても、商工会議所や商工会と共同でネットワークづくりを行う必要があると考えている。

～事務局より

議題（２）令和元年度における主な支援施策について、配布資料をもとに説明～

- ⑥ かがわーくフェアの開催
- ⑦ 中小企業経営講習会の開催
- ⑧ よろずあきんど塾の開催
- ⑨ 職人育成塾に対する支援
- ⑩ 専門職短期大学設置に対する支援
- ⑪ 高松市中小企業勤労者福祉共済事業の実施方法の一部見直し

（委員）

かがわーくフェアの対象学生について、卒業予定者だけでなく、下の学年から企業と接触する（県内企業の魅力を発信する）機会に今後していければよいと思う。

（委員）

中小企業は人手不足に悩み、同時に廃業の危機も抱えている。若年者の職業意識を醸成することも就労支援として実施してほしい。

（事務局）

３年前から、県が高校生の卒業時に県内就職の意向を確認する調査を行っているが、高校生の段階ではまだ就職のことまで考えていないのが現状であると思う。地元企業と求職者のミスマッチが生じているので、学生等に地元企業を知ってもらう機会を増やしたい。

(委員)

県内企業の魅力やブランド力を発信していく地道な努力を継続してほしい。地方出身の若者の中には地元に着愛を持っていてる人がとても多いが、その反面、地元以外での就労も視野に入れていてる人も多いので行政としても見極めを行ってほしい。

～事務局より

議題(3) その他(新たな中小企業等表彰制度(ビジネスアワード)について

配布資料を基に説明～

(委員)

高松らしさを持った表彰制度としてほしい。他の自治体が行っている表彰制度の焼き増しとならないように期待している。

～県・国からの提供資料について説明～

- ① 事業継続力強化計画の認定制度について
- ② 中小企業の日について
- ③ 香川県中小企業BCP作成等支援補助金について
- ④ 香川県事業継承支援事業費補助金について